

<p>【イベント名】 第55回日本神経学会学術大会 International Session</p>	<p>【概要】 内視鏡学会の翌週に福岡で開催された日本神経学会では、これも学会史上初めて、海外とのテレカンファレンスセッションが企画された。てんかんと不随意運動がテーマで、共に韓国、台湾、タイとの接続が行われた。いずれも患者の身体の動きや脳波など動きのある映像が各会場から鮮明に映し出され、それを元に活発な討議が行われた。参加者からはビデオ会議の有用性に関する意見が数多く出され、新たな企画が確認された。</p>
<p>【期日】 2014.5.23</p>	
<p>【会場】 福岡国際会議場（日本）、 チュラロンコン大学（タイ）、 ソウル大学病院（韓国）、 国立台湾大学（台湾）</p>	
	
<p>患者の動画像を示しながら講演するパネリストの一人。</p>	<p>スクリーンに映し出される4地点の様子。</p>
<p>撮影場所：福岡国際会議場</p>	<p>撮影場所：福岡国際会議場</p>
	
<p>演台に並ぶパネリスト。</p>	<p>スクリーンに映し出される発表の様子。</p>
<p>撮影場所：福岡国際会議場</p>	<p>撮影場所：福岡国際会議場</p>
	
<p>動画像で示される脳波の映像。</p>	<p>質問を行う会場の参加者。</p>
<p>撮影場所：福岡国際会議場</p>	<p>撮影場所：福岡国際会議場</p>